

番組審議委員会議事録

株式会社 衛星劇場

1. 開催年月日 平成13年12月4日(火) 12:00～13:30
2. 開催場所 銀座東武ホテル 2階 桜の間
(株式会社 ムービーチャンネル、株式会社 伝統文化放送との合同番組審議委員会)
3. 委員の出席 委員総数 7名
出席委員数4名 (小山観翁、山内静夫、堀江ミエ子、田中康義)
欠席委員数3名 (小林和夫、伊藤信太郎、中村芝翫)
4. 放送事業社側出席 5名 (石川富康[代表取締役・副社長]、須田真司[専務取締役・営業担当]、山崎克巳[取締役・編成担当]、小山宜康[取締役・広報担当]、長谷川一郎[取締役・営業担当])
5. 議事の概要
 - ・衛星劇場及びホームドラマチャンネルの現状報告
 - ・今後の放送番組について
 - ・CS110度問題について
 - ・その他
6. 議事内容
 - 現状報告
 - ・衛星劇場及びホームドラマチャンネルの加入者の推移
 - ・上記加入者に関する分析の報告
 - 放送作品について
 - ・衛星劇場の放送作品の説明
 - CS110度について
 - ・今後、どう対応していくか現時点の状況を説明

質疑応答

・衛星放送の多様化によってソフトの確保が難しくなってくるのではないのでしょうかとの質問に、事業者側は「本当にソフトを確保することが難しくなってくるのが予想される。現状もそうであるが、今後はさらにその傾向が厳しくなるだろう。しかし、顧客に満足していただくためにもソフトの確保がどうしても重要になってくる」と回答した。

・110度の展望はとの質問に、事業者側は「互換性があるという意味で110度に利点はあるが、先行きが見えない。どう対応していくかをもっと詰めていくことが今後の課題である。しかし、うちだけではなく、他にもそれは言えるのではないだろうか」と回答した。

・